



猫の飼い主の皆さん

わたしと猫と暮らすときのお願ひだよ

### 完全室内飼いをする

室内飼いは、交通事故やほかの猫とのけんか、感染症などの危険からペットの猫を守ることができます。また、ふん尿や鳴き声がうるさいなど、猫による周囲の人への迷惑も防げます。

#### 猫にとっての快適な室内空間は？

- ▶高い所が好きなので、キャットタワーや背の高い家具を設置する
- ▶きれい好きなので、猫トイレはこまめに清掃して常にきれいにする
- ▶爪を研ぐ習性があるため、専用の爪研ぎなどを用意するなど

### 不妊・去勢手術を受けさせる

雌猫は1年に3回出産できるため、1年後には20頭に増えることもあります。多頭飼いで世話をしきれず、臭いや騒音、不衛生な環境により、飼い主やペット自身に健康被害が出ることもあります。繁殖を望まないのであれば、必ず不妊・去勢手術を受けさせましょう。

#### 不妊・去勢手術のメリットは？

- ▶これ以上、猫が増えない
- ▶性格が穏やかになる
- ▶尿の臭いが薄くなる
- ▶鳴き声が減る
- ▶病気の予防になるなど

## ペットとの幸せな暮らしのために

日常生活に幸せと彩りを与えてくれるペットとの暮らし。そのためにペットの飼い主の皆さんに求められるルールやマナーをご紹介します。  
【問合せ】生活衛生課生活環境係 ☎5608-6939

### 困った1 ペットの世が大変になってきた

▶自分の視力や握力が低下し、ペットの爪切りが難しくなった。

▶自分の足腰が弱ってペットの散歩が大変になってきた。

### 困った2 少しの間、誰かに預けたい

▶自分の入院が必要だと医師から言われたが、ペットがいるから入院できない。

▶自分がけがをしてしまい、自宅療養が必要となった。治るまでの間、ペットの世話が十分にできない。

### 困った3 ペットの健康に不安が出てきた

▶ペットも高齢になり、ペットの健康に不安があるが、専門的な知識がなく、どう対応したらよいか分からない。

# 未来に起こりうる困り事の対策、ちゃんとできる？

ペットを飼っているシニア世代の方

### 例えばこんな対策があります

- かかりつけの動物病院をつくる**  
自宅の近くで動物病院を探し、必要なワクチン接種や健康診断等で普段から受診し、信頼関係を築いておきましょう。
- 一時的な預け先を見つけておく**  
家族、友人、近所の人など、いつも会っている人ならペットも安心です。そのほか、ペットホテルやペットシッターを探して、利用の仕方などを調べておきましょう。
- 自分が先に亡くなった場合を考えておく**  
弁護士等に相談して、ペットを誰に託すか、ペットのためにどのように財産を残すか等を整理し、法的に有効な遺言書を作っておきましょう。また、ペットを預かり、亡くなるまで世話をしてくれる民間業者などもあります。利用の際にはよく調べましょう。

### 災害発生時のペットの避難先を考えておく

災害発生時は、まずは飼い主自身の安全を確保してください。区内全ての避難所では、ペットを連れて避難する「同行避難」が可能です。ただし、大型動物や危険動物、特別な管理が必要な動物は、受入れができません。一時的な預かり先を見つけておくことも大切です。

### 身元表示をしておく

突然の災害でペットがはぐれてしまうかもしれません。そんなときに飼い主の元に戻れるよう、ペットには連絡先等を書いた迷子札で身元表示をしましょう。マイクロチップを装着している場合は、最新の飼い主情報になっているか確認しましょう。

#### マイクロチップって？

- ▶約12mmの円筒形で、数字による情報を記録する電子標識器具
- ▶情報システムに飼い主の情報を登録すると、照合できる
- ▶4年6月以降に販売された犬や猫には、装着されている

### 適切なしつけをする

避難所では、動物が好きな人・嫌いな人、動物アレルギーがある人など、様々な人との共同生活となります。周囲の人に迷惑が掛からないよう、日頃からしつけをしましょう。

#### しつけのポイントは？

- ▶キャリーケースやケージ(おり)に嫌がらずに入る
- ▶トイレは決められた場所でする
- ▶他人やほかの動物を怖がらない

さらに犬の場合は…

- ▶「待て」「伏せ」などの基本的な号令に従う
- ▶無駄吠えをしない など

### 募集

今号1・4・5面では、昨年度の「動物たちの写真展」に応募があった写真を主に使用しています。現在、今年度の展示写真を募集中です。締切は8月30日。詳細は、本紙8月1日号8面または区HPをご覧ください。

応募してね

### ペットの防災用品

災害時には、ペット用品も手に入りにくくなります。ペットの命を守るために、チェックリストを参考に、日頃から準備をしましょう。すぐに持ち出せる場所に保管することも大切です。

- キャリーケース、ケージ(おり) (避難所でのペットハウスになります)
- 首輪、リード(ひも)、ハーネス
- 最低5日分(できれば7日分)のペット用の餌と水
- 食器や水入れボウル
- トイレ用品(ふん取り袋、ペットシーツや猫砂)
- 常備薬や救急用品
- 飼い主と一緒に映ったペットの写真

## わたしたちペットの防災対策もしっかりとね!

ペットの飼い主の皆さん

- ペットを飼える住宅だ
- ペットを迎えることに家族全員の合意がある  
誰か1人の気持ちだけで飼うと、その人が病気になるなど、世話ができなくなります。
- 家族に動物アレルギーの人がいない
- ペットを飼うために必要な費用が払える  
1頭を飼育したときの月額平均総額(医療費等を含む)は？  
▶犬 1万4240円 ▶猫 8005円
- 毎日きちんと世話をする体力や時間がある  
どんなお世話が発生する？  
▶給餌 ▶トイレ掃除 ▶快適な生活空間の確保 ▶散歩 ▶ブラッシング など
- 必要なしつけと周囲への配慮ができる
- 高齢になったペットを介護する覚悟がある  
ペットも年齢とともに衰え、歩行困難や認知症になることがあります。
- 寿命まで飼育(終生飼養)できる  
平均寿命は？  
▶犬 14.62歳  
▶猫 15.79歳
- 引っ越しや転勤の際も継続して飼育できる  
一緒に引っ越し
- 万が一、飼えなくなった際の受入先を考えている

これからペットを飼おうと考えている方

## 飼う前にちゃんと考えて!

全部にチェック  が入りますか?